

V. 特記事項

1. 保育学科のルーツ 戦後初の画期的な移動幼稚園「青い鳥幼稚園」

大阪芸術大学短期大学部の創設者塚本英世と幼児教育の関わりは、第二次世界大戦の昭和 17 (1942) 年、大阪大念仏寺に始まる。塚本英世は戦時下にあつて幼稚園や保育所に通えない子どもたちのため、ここに日曜学校青空こども会（小桜学園）を創設した。塚本英世は幼児教育に携わる人材の育成だけでなく、実際に子どもたちの教育の場となる幼稚園の運営にも心血を注ぎ、その情熱は一般的な幼稚園のみならず「巡回保育」という取組みにも表れる。昭和 29 (1954) 年には進駐軍 (GHQ) から払い下げを受けた大型バスを改造して保育に必要なものを整え、楽しそうな塗装を施し、車体の横には「子どもを守る運動・青い鳥幼稚園」と書き込み、大阪府内から阪神間を巡回した。この後、青い鳥幼稚園は支部が九州や中国地方にも設立され、西日本全域に広がってこの活動が展開されていく。これを支えたのが戦後の混乱の中であつても、将来の日本を背負う子ども達に教育をと、熱き思いをひめた保育科の卒業生たちであつた。それから約 70 年。本学の卒業生は附属幼稚園 4 園のみならず全国各地で幼児教育に力を注いでいる。

<エビデンス資料>

【資料 特-1-1】大阪芸術大学短期大学部のルーツ「大阪芸術大学短期大学部 保育学科 入学案内 2024」P3

2. 国語力の育成「書評・映画レビュー大賞」

教養課程と図書館が中心になり、「書評・映画レビュー大賞」という名称で、学生から本と映画のレビューを毎年度募集している。これは大学生の時代に授業だけでなく、読書や映画鑑賞で教養を広げることが大切だと考えているからである。この趣旨に賛同した教員の一部は、授業の中でレビューを提出する課題に協力している。教養課程の教員が読んで審査し、書評と映画レビューのそれぞれに対して最優秀の 1 人に大賞、2 人に優秀賞を選定し、賞状と図書カードを贈呈するとともに、「短評」という冊子に印刷して、全学生に配付している。このレビュー大賞は、本や映像に対するレビューを書くということを通して、自分の考えをまとめて文章にするという、あらゆる分野で必要とされる基礎的な国語力の育成に役立っていると考えている。

<エビデンス資料>

【資料 特-1-2】短評「書評・映画レビュー大賞」作品集